



■梯川小松天満宮地区改修

小松市内を貫流する梯川のほとりには、加賀藩3代当主前田利常が1657年に創建した「小松天満宮」が存在します。これは京都の北野天満宮を1/4の大きさと模したとされ、国の重要文化財に指定されています。

このため、小松天満宮を現位置に配したまま必要な治水安全度を確保する、分水路方式による河川整備を進めています。(写真中央が小松天満宮。分水路は小松天満宮を右岸側に迂回して洪水の一部を処理します。)

本年5月に梯川本川の堤防が完了し、現在は分水路の掘削や小松天満宮を囲む輪中堤の築堤等を鋭意施工中です。

(写真提供：北陸地方整備局金沢河川国道事務所H26.8撮影)

視点

- 1 ふたつの国の物語 ―土木のおはなし―
■朝日建設(株) 取締役社長 林 和夫



基調講演の聴講状況(第1会場)▶ P. 3

トピックス

- 3 建設分野の新技术・新工法
平成26年度「建設技術報告会」を開催
■平成26年度「建設技術報告会」実行委員会



見学の様子(東山円筒分水槽)▶ P. 7

地域の動き

- 7 インフラツーリズムの創出を目指して
「とやまの土木」見学会を開催しました！
■富山県 土木部 建設技術企画課



透明型枠▶ P. 9

技術レポート

- 9 箱宮高架橋(上り・下り)耐震補強工事
橋梁の耐震補強の施工について
■株明断組 現場代理人 内村 亮



NB工法の施工状況▶ P.11

- 11 放射能汚染対応技術
ベントナイト砕石工法による放射性物質汚染廃棄物の隔離
技術と施工事例
■西武建設(株)

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 15 「北陸地方建設副産物対策連絡協議会」の取り組み
及び「建設リサイクル推進計画2014」について
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課



見学会(明星セメント)▶ P.15

職場紹介

- 17 工事の見える化と工事の情報発信
地域から愛される現場を目指して
■(株)大島組



作成した大島組かわらばん▶ P.17

先輩なう！

- 19 地域のための仕事ができる誇り
■新潟国道事務所 管理第二課 島津 美砂子 さん



職場内での様子▶ P.19

新技术情報

- 21 NETIS 登録技術
■平成26年度 登録技術
- ・目地バリシート (L型)
【登録番号：HR-140006】 (株)白崎コーポレーション
 - ・高反発スプリング内蔵高打撃ランマ
【登録番号：HR-140007】 (株)明和製作所



目地バリシート施工後▶ P.21



高打撃ランマ締め風景▶ P.21

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp